

小・中学校児童生徒の意識や生活状況等についての調査

「宮っこ 子育て・子育て応援プラン」の策定にあたり、小・中学校児童生徒の意識、生活の状況等を把握するため、市教育委員会で実施した「学習と生活についてのアンケート」結果を参考とした。

学習と生活についてのアンケート（市教育委員会実施）

1 目的

- (1) 児童生徒の学習に対する意欲や取組、生活状況や食事の様子等、学力の背景となる実態を把握する。
- (2) 本調査結果と学習内容定着度調査の結果を分析し、児童生徒の意識や行動と学習内容の定着状況との関連を明らかにすることにより、より一層の学力向上を図る。

2 調査対象

宇都宮市内の全市立小学校及び中学校の児童生徒

3 受検人数

小学校						
第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	小学校計
4,726	4,621	4,698	4,587	4,624	4,657	27,913

中学校			
第1学年	第2学年	第3学年	中学校計
4,335	4,026	4,131	12,492

小中学校計
40,405

4 実施期日

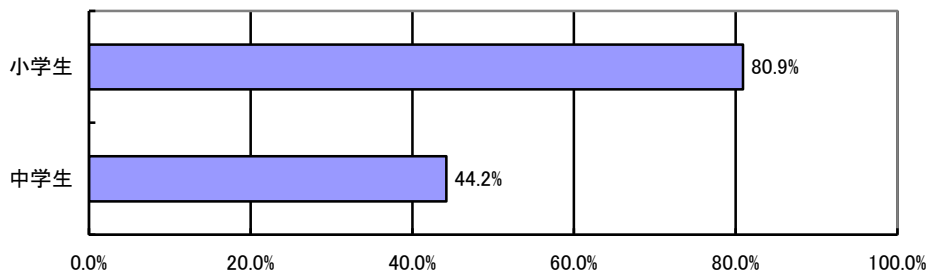
小学校・・・平成25年12月11日（水）

中学校・・・平成25年12月9日（月）又は10日（火）

5 調査結果（主なもの）

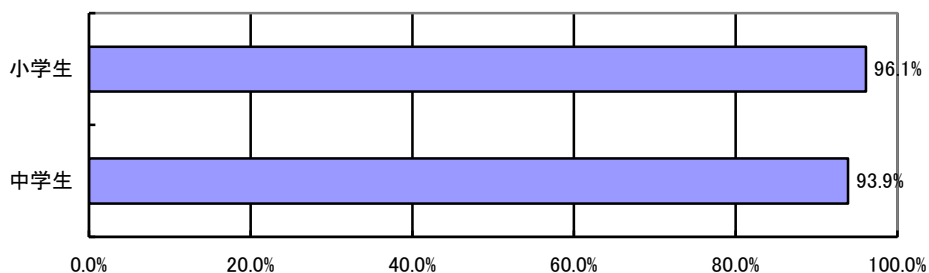
以下では、本計画策定に関わりのある項目について、肯定的な回答をした児童生徒の割合を示している。

（1）勉強が好きですか



■中学生は、勉強が好きと回答している生徒の割合が低い。

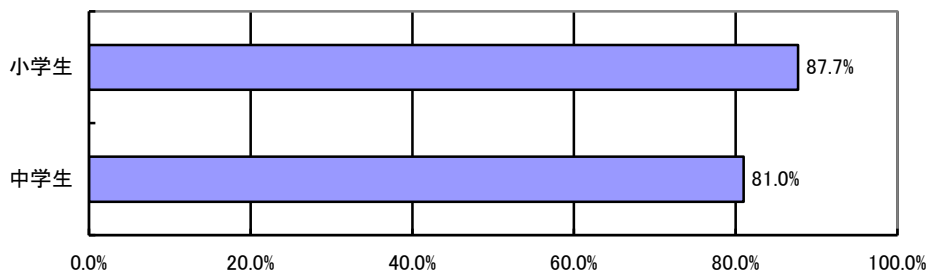
（2）学習して身に付けた知識は、将来の仕事や生活の中で役に立つと思う



※この設問では、小学1・2年生は調査対象としていない

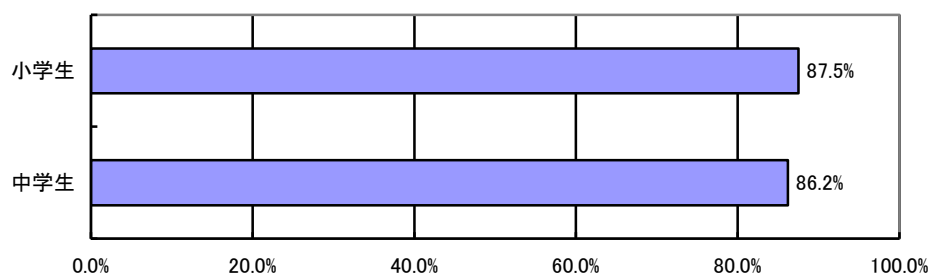
■小学生（3～6年生）、中学生ともに、9割以上が、学習して身に付けた知識は、将来役に立つと感じている。

（3）いろいろな種類の本を読むことは、楽しい



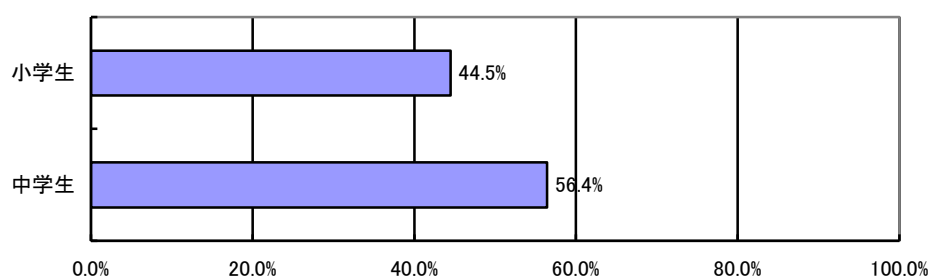
■いろいろな種類の本を読むことへの関心は、学年が上がっても引き続き維持されている。

(4) 誰に対しても、思いやりの心を持って接している



■小学生、中学生とも肯定的な回答の割合が高い。

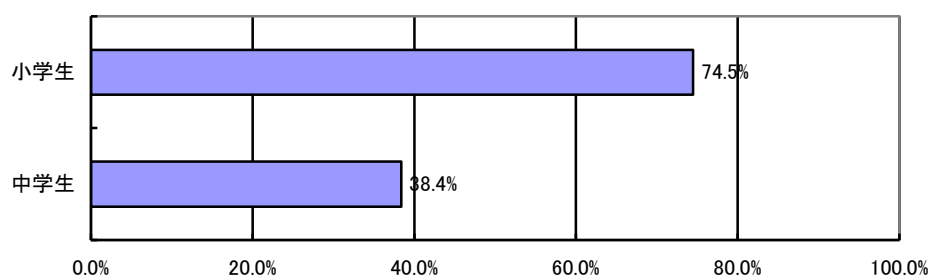
(5) 今の生活や将来に、なやみや不安がある



※この設問では、小学1・2年生は調査対象としていない

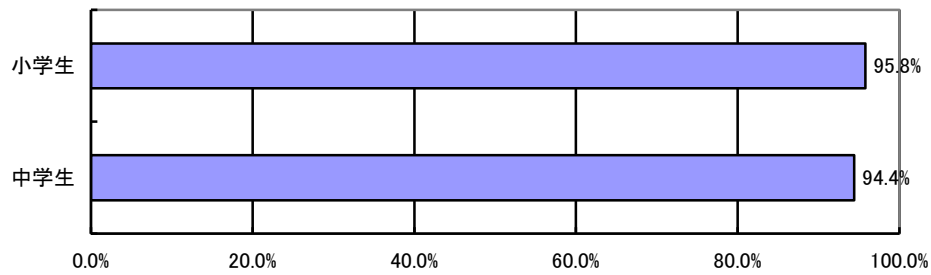
■小学生で約4割以上、中学生で約5割以上が肯定的な回答をしている。

(6) 地域での活動（子ども会や育成会の行事など）に参加している



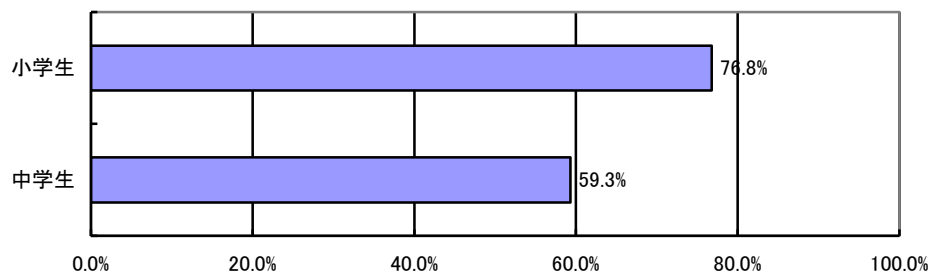
■中学生の肯定的回答の割合が低い。中学生においては、部活動への参加等、生活スタイルや休日の過ごし方などが、小学生と比べて大きく変化しているためと考えられ、地域との関わりが少なくなっている状況がうかがえる。

(7) 毎日、朝食を食べていますか



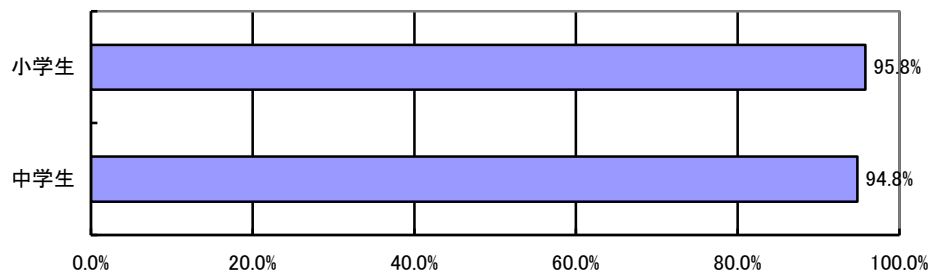
■小学生、中学生とも9割以上が毎日、朝食を食べていると回答している。

(8) 早寝、早起きを心がけている



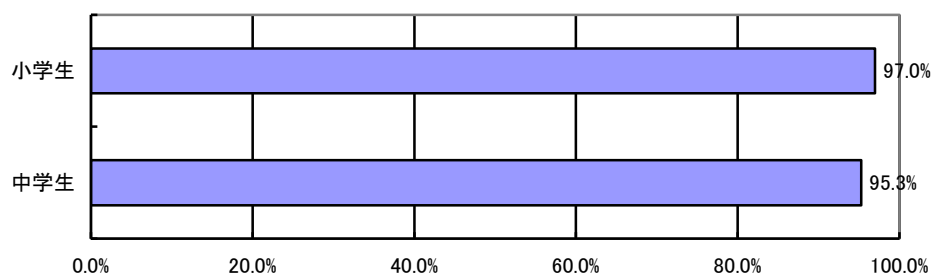
■中学生では、早寝、早起きの生活習慣が低下している。

(9) 運動をすることは大切だと思う



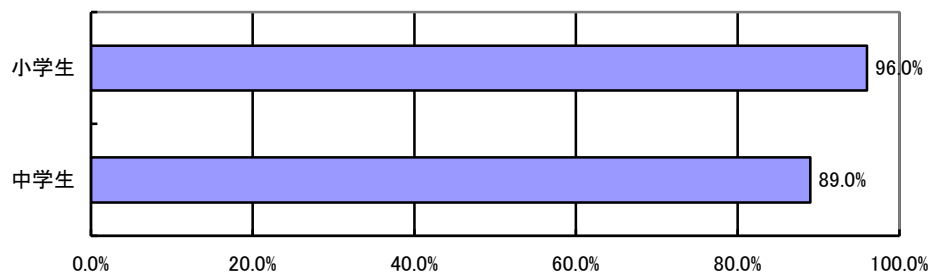
■小学生、中学生とも9割以上が肯定的に回答しており、運動をすることの大切さが理解されている状況が見られる。

(10) 交通事故にあわないよう、交通ルールを守っている



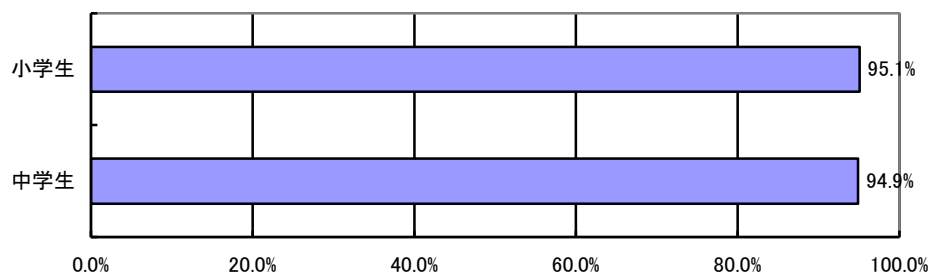
■交通事故にあわないよう、交通ルールを守る大切さは、小学生、中学生とも高い割合で身に付いている。

(11) 不審者から自分の安全を守るための行動を心がけている



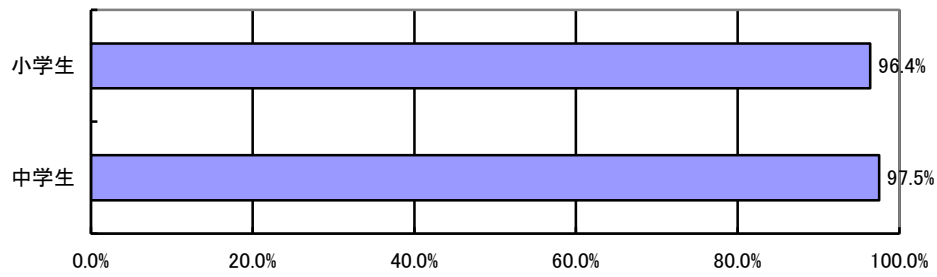
■不審者から自分の安全を守るための行動は、小学生、中学生ともに、高い割合で心がけている。

(12) 未成年者は、飲酒してはいけないと思う



■未成年者の飲酒はいけないことであるという認識は、小学生、中学生ともに高い割合で身に付いている。

(13) 健康のため、たばこは吸うべきではないと思う



■健康のため、たばこは吸うべきではないという認識は、小学生、中学生ともに高い割合で身に付いている。